

白子小学校保護者 様

令和7年度 和光市立白子小学校 学力・学習状況調査結果について

5月に実施した全国学力・学習状況調査（6年生対象）及び埼玉県学力・学習状況調査（4・5・6年対象）について本校の結果概要をとりまとめましたのでお知らせします。今後も、以下の分析結果をもとに日々の授業づくりを見直し、児童の更なる学力向上に努めてまいります。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

1 分析結果概要

本調査項目は多岐に渡るため、本校が近年特に重視している以下の項目の分析結果について報告致します。

① 学力の伸び方※5・6年生のみ

児童一人一人の学力が昨年度の調査時からどれくらい伸びているか。

② 「主体的に学んでいる」度

「他者に与えられた問題を解決していく学び」ではなく、事象や事柄について子ども達自身が「どうしてだろう?」「考えてみたい!」という問題意識をもち、解決していく学びの度合い。

③ 「対話的に学んでいる」度

「他者に教えられて理解する学び」ではなく、既習事項をもとに他者との対話を重ね、地道に納得した解答をつくり上げていく学びの度合い。

④ 「深く学んでいる」度

「知識や解法を覚える学び」ではなく、物事を多様な視点や関係の中で捉えたり、感覚的に理解していた事柄をより深く認識したりする学びの度合い。

⑤ 「非認知能力の育成」

本調査における学習状況の質問紙に係るアンケート調査を基に、児童一人一人の自己肯定感や学習方略がどの程度意識できているかを把握します。

(1) 「学力の伸び」について

- ・国語・算数とも多くの児童が着実にレベルアップしており、確実な伸びが見られました。
- ・国語において、4・5年は「話す・聞く・書く」、6年は「読むこと」の領域、算数については、5年は「変化と関係」、6年は「図形・データの活用」の領域に課題が見られました。4年生については、どの領域も65%以上の正答率となっていました。この領域の学力の定着が図れば、更なる学力の伸びに繋がると考えられます。

(2) 「学力の伸び」と「本校の重視している①主体的～②対話的～③深く～」との関連について

≪5・6年生≫

- ・主体的に学んでいる子ほど、学力の伸びが大きい。
- ・対話的に学んでいる子ほど、学力の伸びが大きい。
- ・深く学ぶことを大切にしている子ほど、学力の伸びが大きい。

《4～6年生》

- ・主体的に学んでいる子ほど、対話的に学ぶことができている。
- ・対話的に学んでいる子ほど、深く学ぼうとする意識が高い。
- ・深く学ぼうとしている子ほど、主体的に学ぶことができている。

(3) 「非認知能力と認知能力」との関連

- ・非認知能力の項目について、普段から非認知能力に関する事項（自己肯定感や学習法力など）を意識して学校生活を送っている児童ほど、学力が高い傾向にあることが分かりました。これは、埼玉県教育委員会からも報告が出ているものと同じ結果となっています。

2 分析結果を受けて

(1) 学校における取組

①授業について

今後も引き続き、「子どもたちが、問題意識を高め、既習事項をもとに思考・判断し、対話を重ねながら課題を解決していく授業」を、追究・実践して参ります。具体的には、「課題や振り返り、まとめを子ども自身の言葉で言語化させる授業」「子どものつぶやきや気づきを拾い、それを教師が価値づけたり、子ども同士で共有させたりする授業」などの実践を行い、学力の向上を進めていきます。

②非認知能力に関することについて

学力学習状況調査や本校独自に取り組んだ、非認知能力に関する意識調査の結果を見ると、「敬意・思いやり」の項目については、意識して生活する児童が多い反面、「忍耐力・目標への情熱・自尊心」について、意識が低い児童が多いことが分かりました。そこで、本校では、「やりぬく力を高めよう」を合言葉に、授業や学校生活の中で、声掛けをしています。全校朝会等でもその話題に触れ、校長から児童へ直接声掛けを進めています。

(2) 家庭でお願いしたいこと

ご家庭でも「何事にも、最後までやり抜く」という言葉をかけてあげてください。その際、できた事柄を褒めるのではなく、「最後まで続けようとした姿勢・取り組もうとした気持ち」について、褒めてあげてください。

例えば、冬休みの宿題として出された縄跳びの技に挑戦している際、決して、「できた・できない」という基準で価値づけするのではなく、「**なんども挑戦していてすごいよ**」「**挫けず取り組めてるよ**」のように諦めずに挑戦し続けている姿を褒めてあげてください。

今後も、以上の分析結果をもとに日々の教育活動を見直し、児童の更なる学力向上に努めてまいります。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

